



## 【先週 7月5日～7月11日の外食の出来事】

### ■「いきなり!ステーキ」が114店舗を閉店、希望退職者200名募集

「ペッパーフードサービス」は、「いきなり!ステーキ」および「ペッパーランチ」業態の114店舗を閉店し、希望退職者の募集により200名を削減する。退職日は8月31日の予定で、退職者には特別退職金を別途支給する。

### ■コロナ禍、大戸屋にTOBへ 子会社化で再建狙う

コロナ禍は大戸屋ホールディングスの買収に乗り出す。10日にもTOBを開始、現在19%の保有比率を5割程度にして子会社にする。新型コロナウイルスの感染拡大で外出が減り、飲食店の経営は悪化している。

### ■銚子丸、2020年5月期(19年5月16日～20年5月15日)の業績 減収減益

2020年5月期 通期の業績は売上高180億7600万円(対前年同期比6.4%減)、営業利益7100万円(同92.4%減)、経常利益1億3900万円(同85.8%減)、当期純損失9300万円(-)であった。

### ■ジョイフル、第3四半期(2019年7月～2020年3月)の連結業績 減収減益

2020年6月期 第3四半期の連結業績は売上高528億7300万円(前年同期比4.4%減)、営業利益1億7100万円(同74.2%減)、経常利益2億600万円(同73.9%減)、四半期純損失25億800万円(-)であった。

### ■ハイディ日高、第1四半期(2020年3月～5月)の業績 減収赤字

2021年2月期 第1四半期(2020年3月～5月)の業績を発表。売上高64億7200万円(対前年同期比39.5%減)、営業損失15億900万円(-)、経常損失15億800万円(-)、四半期純損失12億6300万円(-)であった。

### ■【6月街角景気】持ち直しつつある

街角景気は地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々から聞いた景気判断。2020年6月は、3ヶ月前と比較しての景気の現状判断は飲食関連で、先月から31.0ポイントも急上昇し、39.6ポイントとなった。

### ■酒卸カクヤス、6月飲食店向け6割まで回復 家庭向けは2割増にスローダウン

業務用最大手の酒類卸、株式会社カクヤスが、6月の飲食店向けの同社業務用売上高は前年比59.9%と発表。5月は24.1%だったので回復。家庭用は123.1%。5月は145.9%で、ステイホームから外に出始めたことが分かる。

### ■くら寿司、上場来初の最終赤字 11～4月 営業時間短縮響く

2019年11月～20年4月期の連結決算は、最終損益が9億5900万円の赤字だった。01年5月の上場以来、初の赤字となる。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う店舗営業時間の短縮や外出自粛の広がりが響いた。

### ■「昭和食堂」海帆、債務超過に 社長増資と個人保証付借入

東海3県を中心に「なつかし処昭和食堂」など居酒屋を展開し、東証マザーズ上場の株式会社海帆が、2020年3月期決算において314百万円の債務超過となり、上場廃止に係る猶予期間入り銘柄に指定された。